

三一七五番

若わかの浦うらに 袖そでさへ濡ぬれて 忘わすれ貝がひ 拾ひりへど妹いもは
忘わすらえなくに

三一七六番

草枕くさまくら 旅たびにし居をれば 刈かり薦こもの 乱みだれて妹いもに
恋こひぬ日ひはなし

三一七七番

志賀しかの海人あまの 磯いそに刈かり乾ほす ななのりその 名なは
告のりてしを なにか逢あひ難かたき

三一七八番

国遠くにとほみ 思おもひなわびそ 風かぜのむた 雲くもの行ゆくこと
言ことは通かよはむ